

ディアナチュラル  
**美容室DearNatural**

— Hair salon —  
TEL:0153-26-2332  
営業：9:00-18:00  
定休：日曜日、第1・3月曜日  
OPEN：平成20年



美容師：廣瀬円  
「初めてのお客様大歓迎です」  
小学生からお年寄りまでファンの多い笑顔が素敵な廣瀬さん。

札幌の美容室で腕を磨き、地元へUターン。店はログハウス風のトレーラーハウス。店名の「ディアナチュラル」は廣瀬さんの好きなバンド ZELDA の曲にちなんで名付けた。曲名のように自然を大切に思う気持ちを忘れないようにしたいという。整髪料、シャンプー、コンディショナーなどは着色料、防腐剤を使わない低刺激で環境にやさしいものを使うように心がけているそうだ。



**厚床石油** ATTOKOSEKIYU

— Gas station —  
TEL:0153-26-2037  
営業：冬8:00-18:30 夏7:30-19:00  
定休：日曜日（※厚床給油所と毎週交替で日曜営業）  
OPEN：昭和59年



**開運寺** KAIUNJI

— Temple —  
正式名称は毘沙門山開運寺(山号+寺号)、根室山開法寺の末寺である。※高龍寺(函館)ー開法寺(根室)ー開運寺(根室)  
TEL:0153-26-2025

開運寺3代目(御開山=初代を入れたら4代目)。宗派は曹洞宗。本尊は釈迦牟尼佛。お参りをするとには玄関を開け、本尊にて手を合わせ「南無釈迦牟尼佛(なむしゃかむにぶつ)」と唱える。※釈迦牟尼佛とはお釈迦様のこと。  
●馬頭観音/境内には馬頭観音の石碑(大正4年建立)ある。初田牛の玉熊牧場が離農し放置されていた馬頭観音石碑を開運寺が供養したもの(昭和20年移設)。  
●千鳥桜/国後島千鳥桜の直系。這うような低い樹形が特徴。  
●座禅会/日時：2、4、6、10、12月の19:30-21:00 グループ、団体での申し込み可(時間は相談の上)。



ATTOKO YUBINKYOKU  
**厚床郵便局**

— Post office —  
TEL 0153-26-2210 平日8:45-18:00、土曜 9:00-12:30、ATMあり

「厚床郵便局でしか手に入らないポストカードにここにしかない風景印(消印)を押して大切な人に手紙を送りませんか? 旅の記念にお気軽にお立ち寄りください」と、市場さん。



**オススメ**  
厚床郵便局オリジナルポストカード1枚180円  
郵便局員さんに申し出ると、郵便物に厚床郵便局オリジナル消印を押印してもらうことができます。

ATTOKO SHIKASHINRYOJO  
**市立厚床歯科診療所**

— Dentist —  
TEL 0153-26-2249  
定休日：日曜日、毎月第1、3土曜日  
営業：月、水、金…受付17:00まで  
火、木…受付18:30まで



「旅の途中で歯が痛くなった際はご相談ください」と言うアウトドア派のやさしい齊藤先生は、カヌー、自転車、自家菜園が趣味です。

TOKOJI  
**東光寺**

真宗大谷派紫雲山東光寺  
— Temple —  
TEL:0153-26-2053  
宗派は真宗、本尊は阿弥陀如来。根室別院布教所より昭和36年に独立し、現在2代目の池田考修さんが住職を務める。



ATTOKO PAHKUGORUHUJO  
**根室市厚床パークゴルフ場**

— Park-golf course —  
18ホール(全長763メートル)  
TEL 0153-26-2239  
期間：5月1日～10月31日  
(芝の状況等により期間の変更あり)  
営業：午前9:00～午後5:00  
(10月は午後4時まで)  
定休：毎週水曜日(祝日の場合は翌日)  
料金：1日300円、用具貸出料100円

■年齢問わず誰でも楽しめる北海道の代表的なスポーツ。ルールは通常のゴルフとほぼ同じ、テニスボール大のボールを使用して、1本のクラブで全ホールを回ります。



MEIJINYUGYO NEMUROKOJO  
**明治乳業株式会社根室工場**

— Meiji Dairies Corporation — TEL 0153-26-2131  
「明治乳業へようこそ。根室で生産された美味しい牛乳でメリーミルクやエバミルク(濃縮乳)を真心こめて作っています」と宇田工場長。工場の敷地内を通る「厚床バス」の入り口には、工場の歴史や製造ラインの説明、根室フットバスを応援している旨を3枚のパネルにまとめ設置している。



工場長：宇田聖志

NEMUROKOUTSU ATTOKO ANNAJO  
**根室交通厚床案内所**

— Bus information office —  
TEL 0153-26-2655  
営業：平日(月～土)12:30～20:30  
定休：日曜祭日、振り替え休日  
●フットバスルートマップ販売所



「定期路線バスや札幌・釧路行き高速バスの案内をしています。フットバスのマップも取り扱っていますよ」と、低い声がダンディーな長谷川さん。

■根室交通オリジナルチョロQ(1セット1400円)  
チョロQボンネットバスのモデルは、昭和34年に根室～ノ sapp間が開通した時のもので、エンジンは民生UD3型、ボデーは梁瀬自動車。横のボデーの模様は昆布をイメージしたもの。現在運行中のモデルは、平成8年の「三菱ふそうMP617PM型」の車両で根室～ノ sapp間を1日9往復、片道23.5キロ35分で結んでいる。

足跡を残そう、小さな発見のまち歩き

厚床を1つにする大切な神社です。祭り(9月)と正月に開帳します。お祭りは屋台や町内会の出し物があり盛り上がるのでぜひお越しください



氏子総代:廣瀬正志

SOUZEN JINJA  
**蒼前神社(そうぜんじんじや)**

— Shrine —  
馬を祀った神社。大正8年鉄道開通の頃、小さな稲荷社で始まり、後年に家畜市場で賑わった馬に因んで旧根室町選出の道議が、ご神体を受けて来て蒼前神社になった。開拓の苦勞とともにした農耕馬に感謝する想いが尊敬畏敬となり、神格化して祀られた。蒼前神社のご神体はどこから譲り受けたのかは不明。蒼前さまと呼ばれる神様は東北地方に多く、いわれは奥州藤原、義経伝説までさかのぼる。



氏子総代:小滝大三郎

HAYASAKA RYOKAN  
**早坂旅館**

— Inn —  
TEL 0153-26-2016  
チェックイン：14:00以降  
定休日：なし  
OPEN：昭和3年

創業82年の早坂旅館は馬宿から始まった。当時、厚床と大森毛にあった馬市場がにぎわっていた頃は、ふとんを廊下にもぎっしり敷くほど賑わっていたそうだ。その後は駅の待合所として飲食の提供、そして旅館業と、今に至っている。平成19年より1日1組、素泊まりのみ対応、1泊3500円。「食事は近くの食堂で!と早坂さん。



早坂ケイ子

ATTOKO CHUZAISHO  
**厚床駐在所**

— Police station —  
TEL 0153-26-2151  
※市販地図でわかる範囲内で道案内可。「道に迷ったらわかる範囲でご案内しますよ」と昨年着任したばかりの真面目でユーモアのある黒川晃年さん。



HISHISAN ATTOKOKYUYUJO  
**(株)ヒシサン厚床給油所**

— Gas station —  
TEL 0153-26-2045  
営業：冬8:00-18:30夏7:30-19:00  
定休：日曜日(※厚床石油と毎週交代で日曜営業)  
OPEN：昭和44年(平成13年リニューアル)



野山遊び、釣り、山菜採りなどに詳しいと厚床住民イチオシの加川昭夫さん。「厚床周辺は細い川でも釣り糸を垂ればすぐかかる。80cmくらいのウミアメマスがかかる時もあるんだよ。野山を歩くときはリュック一つで手軽にね。お茶とスニッカーズとビニール袋があれば十分(つづく)…」厚床周辺で楽しめる情報から山遊びのコツまで惜しみなく話してくれる気さくな人柄。根室生まれ、根室育ち(厚床歴8年)。「野山遊びのことなら気軽に聞いて」と加川昭夫さん。「厚床歩く会」(3年前発足)広報担当で年に2回根室フットバスや阿寒、厚岸辺りを歩いている。

かのいち SASAKISHOUTEN  
**(株)叶一 佐々木商店**

— Food&general merchandise Shop —  
TEL 0153-26-2018 営業：8:30-20:00  
定休日：なし(正月休みあり)  
OPEN：昭和23年(それ以前は根室市内で佐々木商店を営業。戦後厚床に移る)



社長:佐々木賢一

地元漁師直送の鮮魚も並ぶ厚床唯一の総合食品スーパー。店前にずらりと並ぶ自販機は缶コーヒー、ジュースが100円からと大人気。「お土産には、オランダせんべい、標準羊羹、北の勝が人気でおすすめ。」と昭和商人の良心、佐々木社長。

あつとこ界隈ガイド

ここがスタート

8

4

5

attoko

attoko

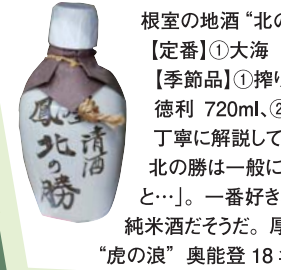
attoko

まるしょう YAMAZAKISHOTEN  
**(有)丸正 山崎商店**

— Liquor store —  
TEL 0153-26-2001  
営業：8:30-20:30(日曜19:00) 定休日：なし  
OPEN：昭和6年(呉服屋から始まる。戦前から酒、塩、煙草などを取り扱う)



社長:山崎尚



根室の地酒「北の勝」の定番と季節、土産品を取りそろえる。  
【定番】①大海(晩酌の定番で一番人気)②鳳凰③本醸造  
【季節品】①搾りたて(1月)大吟醸(12月)【土産品】①鳳凰徳利 720ml、②精撰黄金 720ml。お酒のことを聞けば、丁寧に解説してくれる山崎さん曰く「米は新潟山田錦、北の勝は一般に辛口と言われているが、そうでもない」と…。一番好きなお酒は「北の勝」の一番辛口の純米酒だそうだ。厚床界隈で人気なのは麦焼酎「虎の浪」奥能登18年もの古酒。

「根室の地酒、北の勝、各種取り揃えています。種類が多いので相談に乗りますよ。と、山崎さん。あなたにぴったりの本が見つかるはず。」